

# 文化芸術振興のあり方についてのアンケート調査結果

調査時期：平成17年（2005年）12月  
 対象者：県政モニター300人  
 回答者：228人（回収率 76.0%）  
 担当課：県民文化課

調査目的：県では今後、文化芸術振興施策をより総合的かつ計画的に推進していくために、文化芸術振興のあり方を検討することとしており、この検討を行うにおいて、県政モニターの皆様のご意見を伺いました。

## 年齢・性別

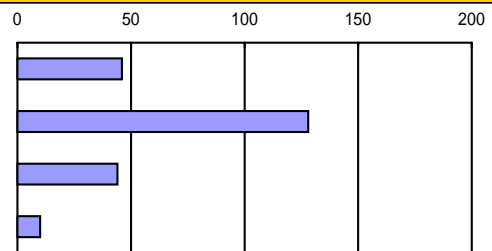
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不明	合計	構成比
男性	10人	11人	7人	16人	45人	22人	0人	111人	48.7%
女性	18人	44人	16人	22人	12人	1人	1人	114人	50.0%
不明	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	3人	1.3%
合計	29人	56人	23人	38人	58人	23人	1人	228人	100.0%
構成比	12.7%	24.6%	10.1%	16.7%	25.4%	10.1%	0.4%	100.0%	

## 居住地

<b>大津・志賀地域</b>	<b>39人</b>	<b>17.1%</b>	<b>東近江地域</b>	<b>42人</b>	<b>18.4%</b>	<b>湖北地域</b>	<b>42人</b>	<b>18.4%</b>
大津市	33人	14.5%	東近江市	20人	8.8%	米原市	13人	5.7%
志賀町	6人	2.6%	近江八幡市	12人	5.3%	長浜市	6人	2.6%
<b>湖南地域</b>	<b>47人</b>	<b>20.6%</b>	安土町	3人	1.3%	浅井町	3人	1.3%
草津市	17人	7.5%	日野町	5人	2.2%	虎姫町	3人	1.3%
守山市	10人	4.4%	竜王町	2人	0.9%	湖北町	1人	0.4%
栗東市	10人	4.4%	<b>湖東地域</b>	<b>16人</b>	<b>7.0%</b>	びわ町	5人	2.2%
野洲市	10人	4.4%	彦根市	8人	3.5%	高月町	3人	1.3%
<b>甲賀地域</b>	<b>27人</b>	<b>11.8%</b>	秦荘町	2人	0.9%	木之本町	3人	1.3%
甲賀市	19人	8.3%	愛知川町	3人	1.3%	余呉町	2人	0.9%
湖南市	8人	3.5%	豊郷町	1人	0.4%	西浅井町	3人	1.3%
			甲良町	1人	0.4%	<b>湖西地域</b>	<b>14人</b>	<b>6.1%</b>
			多賀町	1人	0.4%	高島市	14人	6.1%
						<b>不明</b>	<b>1人</b>	<b>0.4%</b>
						<b>合計</b>	<b>228人</b>	<b>100.0%</b>

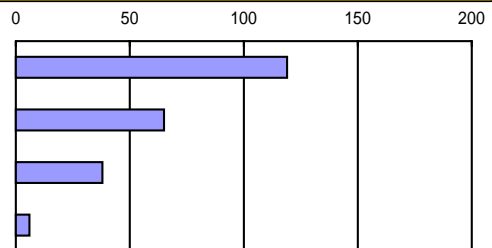
## Q1 文化芸術に関する活動について

1	文化芸術の活動を行っている	46人	20.2%
2	文化芸術の活動は行っていないが関心はある	128人	56.1%
3	文化芸術の活動に関心はない	44人	19.3%
4	無回答	10人	4.4%



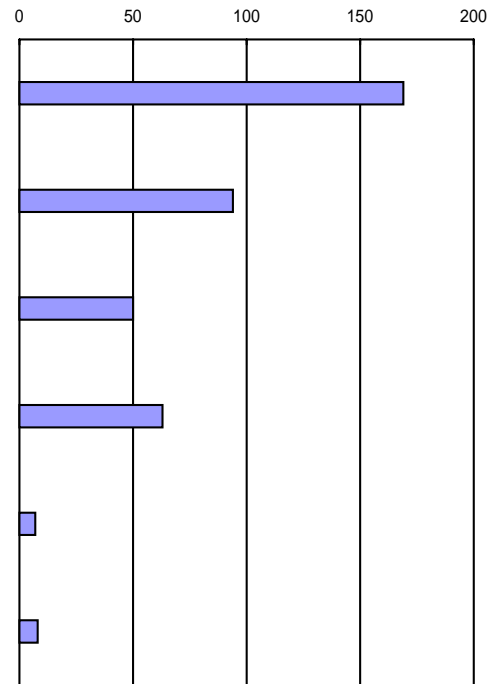
## Q2 文化芸術に関する鑑賞について

1	文化芸術の鑑賞を行っている	119人	52.2%
2	文化芸術の鑑賞は行っていないが関心はある	65人	28.5%
3	文化芸術の鑑賞に関心はない	38人	16.7%
4	無回答	6人	2.6%



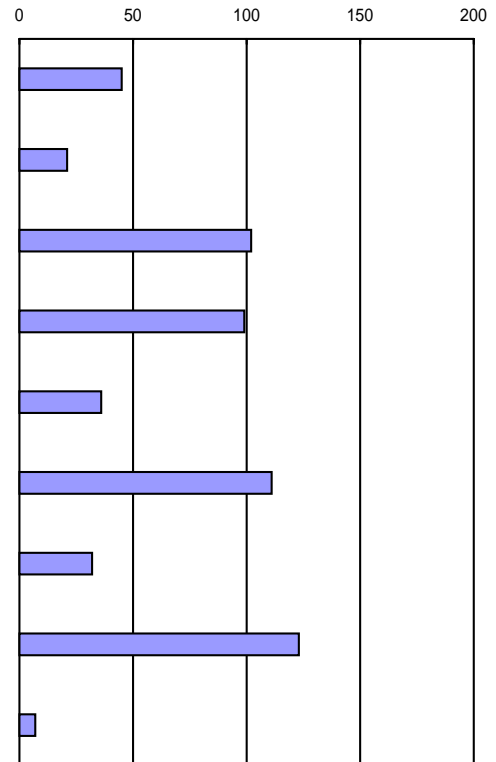
**Q3** 文化芸術の社会における意義とは、どのようなものがあると思われますか（複数回答）

1	個人が表現を通して自己実現を図ったり、鑑賞を通じて新たな発想を生み、感動や癒しによって明日への生きる活力を生み出すもの	169人
		1位
2	表現を通じて人と人とのコミュニケーションを生み相互理解を深めるなど、人間が社会生活をする上で欠くことのできないもの	94人
		2位
3	地域社会にとって、同じ文化芸術を共有することにより連帯感を育み、地域の誇りとなるなどアイデンティティを形成する核となるもの	50人
		4位
4	新しい産業の振興や既存産業の付加価値を高めたり、まちづくり、環境、福祉、教育などさまざまな分野との関わりにおいて、地域に活力を与えるもの	63人
		3位
5	社会にとってあまり大きな役割は果たしていない	7人
		6位
6	その他	8人
		5位



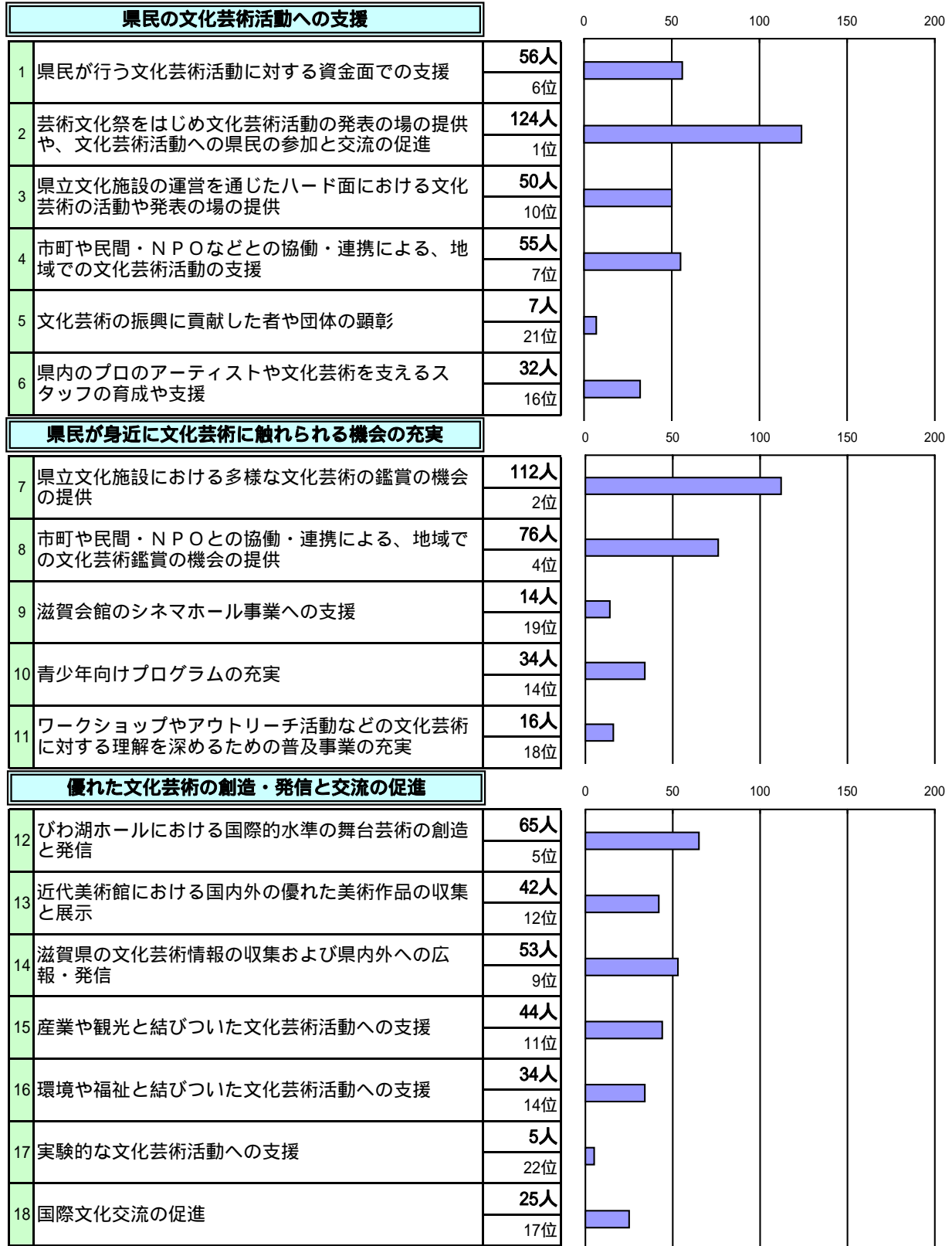
**Q4** 滋賀らしい個性ある地域文化を構築する上で、滋賀県のより望ましい将来像はどのような姿であると思われますか（複数回答）

1	多くの県民が多数の人が好む文化芸術を鑑賞している姿	45人
		5位
2	多くの県民が良質で非日常的な文化芸術を鑑賞している姿	21人
		8位
3	多くの県民が質やジャンルを問わず多様な文化芸術を鑑賞している姿	102人
		3位
4	多くの県民が多様な文化芸術活動に参加している姿	99人
		4位
5	著名なアーティストが育ち、全国や世界で活躍している姿	36人
		6位
6	歴史や伝統に根ざした文化芸術が受け継がれ発展している姿	111人
		2位
7	文化芸術の新たな創造が活発に行われている姿	32人
		7位
8	青少年が文化芸術に触れ、創造性や感性が育まれている姿	123人
		1位
9	その他	7人
		9位

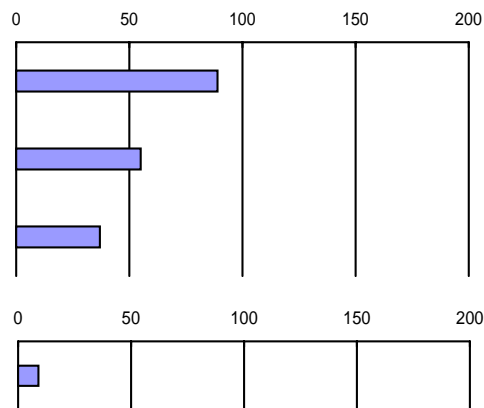


Q5

県では、市町や民間などと役割分担しながら、広域のかつ専門的な施策を実施することとしています。あなたはQ3～4を踏まえ、県はどのような具体的な施策を重点的に進めていくべきと考えますか（複数回答）

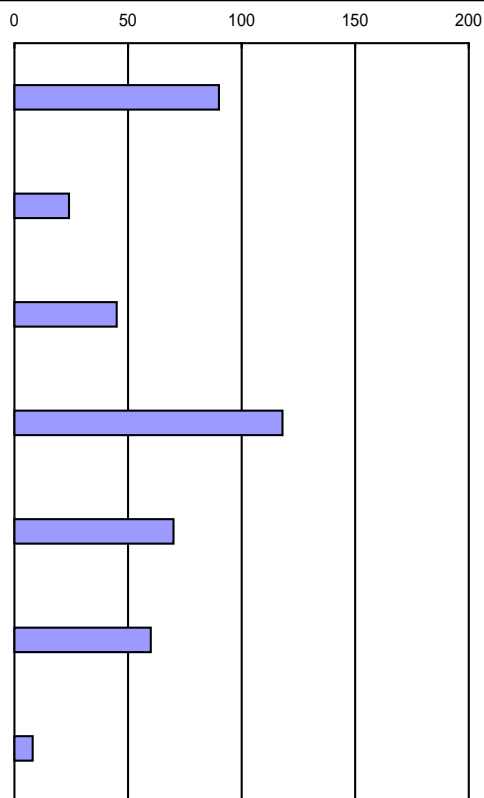


文化資産の保存と活用	
19	滋賀県の豊富な歴史文化資源を生かしたひとづくり、まちづくりの推進 89人 3位
20	地域の歴史文化資産に親しむ機会の充実 55人 7位
21	文化財の調査と保存管理や整備の推進 37人 13位
その他	
22	その他 9人 20位



**Q6** 文化芸術振興施策については特に財源の確保が課題となっていますが、この課題の解決のため、あなたはどのような方策がふさわしいと思いますか（複数回答）

1	県全体の予算の中で文化芸術振興予算の占める一定の割合を確保する 90人 2位
2	県立文化施設の会場使用料や入場料を上げるなど、受益者の負担割合を高くする 24人 6位
3	企業からの協賛金や県民のみなさんからの支援金を募る 45人 5位
4	収益性にこだわらない事業だけでなく、集客力があり収益性の高い事業もバランス良く組み合わせて事業を行う 118人 1位
5	官から民へ、民間やNPOなどができることはできるだけ移管し、行政が行う施策は縮小する 70人 3位
6	ボランティアなどと協力し、効率的・効果的な施策を行う 60人 4位
7	その他 8人 7位



Q7

県では滋賀らしい文化芸術の振興のあり方について、県民のみなさんとともに検討していきたいと考えておりますが、どのような方法で進めれば良いと思いますか。  
(自由記述) <主な意見>

- ・ 滋賀らしさをコンセプトにした県民へのアンケートや、振興局単位でのシンポジウムの開催
- ・ 官民各界より人選のプロジェクトチームをつくり、運営についても行政から切り離れた形で行う
- ・ 各分野別委員と一般市民、学生、芸術家で構成した委員会で検討し、県民との集会やイベントを開催する
- ・ 団体の役員等の有識者を中心とせず、県民主体で検討する
- ・ 広報誌の利用やインターネット等で意見収集を行う
- ・ 実際に活躍している優れたアーティストの生の意見を聞く場、機会を工夫する
- ・ 県内各自治体から有志を集い、各芸術分野ごとに討論の場を持ち意見を集約する
- ・ 地域をよく知り愛する人を核に検討する
- ・ 様々な催しの場で、参加された方々にアンケートをする
- ・ 一般の方々へのアンケート調査等を基に、ニーズを集約した上で、5、10年くらいの構想と立てて進めていく
- ・ ワークショップ等の県民参加型で討論できる場を確保する
- ・ 市町村単位で保全すべき文化芸術や、創造していく文化芸術の掘り起こし、県がそれを更に検討する

Q8

その他今後の文化芸術振興のあり方についてご意見等ありましたらお聞かせください。  
(自由記述) <主な意見>

- ・ より良い文化芸術を学ぶ機会や場所を提供し続け、滋賀から優秀な文化人を多数輩出する
- ・ 滋賀出身のアーティストに滋賀で多くのイベントをしていただき、子ども達に夢を与えてほしい
- ・ 高齢者が心豊かになるような芸術鑑賞・活動の増加と、新しいアーティストが育つ環境の整備
- ・ 地域に根付いた個性豊かな文化を育む生活圏を再構築することにより、オンリーワンの文化を創出する
- ・ 滋賀県には文化財が数多くあり、文化財保護と文化財公開を推進する
- ・ 県内の多くの伝統芸能や才能のある人達を大切に、県外流出を防ぐことが課題
- ・ 身近な部門に力点を置くべきと思うが、県民が本当に何を望んでいるか把握しなければならない
- ・ 欧米のメセナ活動の活発な理由を考えると、寄付行為に対する税制面の大幅な優遇ができないか
- ・ 県と市町がばらばらに文化振興するのではなく、県全体の住民ニーズを的確につかんだ将来展望が必要
- ・ 南部に施設が集中しすぎであり、北部住民への入場料割引等を実施してほしい
- ・ 文化芸術面だけで考えず、街の発展を見据えた考え方で検討すべき
- ・ 文化芸術に興味のない人も大勢いる中で税などで強制的に財を集めることは難しいので、入場料等を上げる
- ・ びわ湖ホールや近代美術館などへ学校毎に見学したり、子供がもっと芸術に親しめるように企画してほしい
- ・ 小さい政府だと文化など効率の悪いものから予算が削られやすいので、そうならないようにしてほしい
- ・ びわ湖ホールを名実とともに日本の文化を発信できるような一流のものにしてほしい
- ・ 地域での文化芸術の促進と国際的水準の文化芸術をバランス良く振興する
- ・ ボランティアや意欲のある方などで地域での連携を強化する
- ・ 子供から高齢者まで文化芸術に関わる人が自分達で育てる意識を持ち負担すべきことは当然と考えるべき
- ・ 財政難の今、あまり税金を使ってほしくない
- ・ 集客力のある芸術も必要で、バランス良く老若が楽しめるようにしてほしい